

知って得!

# 肺がん 外科治療の最前線



～ロボット手術で翌日退院～

現在本邦では2人に1人が「がん」に罹る時代です。

2020年には12万759人が肺がんと診断され、2022年には7万6663人の方が肺がんで亡くなっています。肺がんでも症状でない早期のうちに治療すれば約8割の方が治るようになりました。肺がんの早期発見目的に胸部レントゲン検診が本邦では広く行われていますが胸部レントゲン検診を受けていれば大丈夫なのでしょう。治る肺がんが確実にみつかるのでしょうか？

そして早い病期の肺がんに対しては現在でも外科治療が第一選択となります。肺がん手術を受ける患者さんの多くは症状もなく元気な方ばかりです。一方肺がん手術では100万人のうち5000人位の方が手術後に病院で亡くなる手術もあります。平成30年4月からは肺がん患者さんにロボットを用いた手術が保険適応となりました。ロボットを使用した精密な手術で当科では80%の方が翌日退院されています。元気に退院するコツを病院選びのコツも含めてわかりやすくお話しします。

日時

令和7年

3月15日(土)

午後3時から午後4時まで

当日午後2時30分開場後、先着順にてご入場。

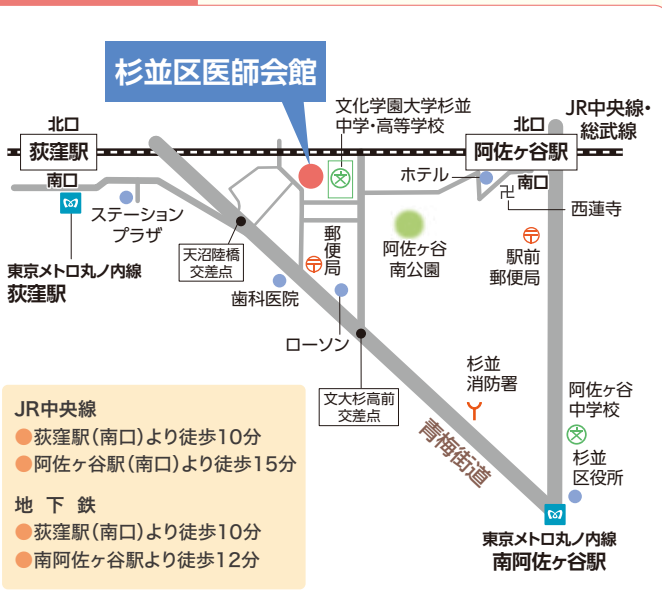
※開場時間前は会館に入れません。

講師

新百合ヶ丘総合病院  
呼吸器センター センター長

小田 誠先生

会場案内図



会場

杉並区医師会館  
3階 講堂

(東京都杉並区阿佐谷南3-48-8)

定員

80名 ※先着順

▼お申し込み方法

当日、直接会場へお越しください。

主催

杉並区医師会地域医療部

後援

杉並区